

「不易」と「流行」 誠実・克己・忠恕

～「Dreams come true.」 ウォルト・ディズニー～

「Dreams come true.」・・・良く使われるこの英文ですが・・・よく考えると・・・おかしくないですか？
気になることはありませんか？間違っていないですか？夢がかなうのは・・・**未来**なのに・・・「come」という動詞は・・・何で**現在形**なのでしょう？では・・・どうぞ。

夢の世界、ディズニーランドには夢を壊さない仕掛けが盛りだくさんです。
ディズニーのパーク内では、来場者に周辺の住宅や工場が一切見えないように工夫されています。
さらに・・・食料や商品、ごみの運搬も地下道や建物の裏道を利用するため表にでないように設計されています。
実は・・・トイレにも最低限しか鏡がありません。
それは・・・訪れた人々を現実の世界に引き戻さないため。
まさに徹底した夢の国です。
1955年、ディズニーランドがカリフォルニアにできた当初は、わずか11のアトラクションしかありませんでした。しかも、トラブルも多かったといいます。
その後1971年にカリフォルニアでの経験を踏まえて、フロリダにディズニーワールドをオープンしました。
しかし・・・創業者のウォルト・ディズニーは、完成を前に他界していました。
このときディズニーワールドを訪れたウォルトの友人がこう言ったといいます。
「ずばらしい！一目彼に見せたかった。」
その発言に、別の友人がすかさず言いました。
「何を言ってるんだ！ウォルトが見ていたからこそできたんじゃないか！」
そう、ウォルト・ディズニーが、夢に描いたからこそ、ディズニーワールドはできたのです。
すべての現象は・・・まず・・・**心に描く(イメージする・想像すること)**です！
ウォルトは、この言葉を残しています。
「夢を見ることができれば、それは実現できる」-----by ウォルト・ディズニー

「Happy 名語録」ひすい ことろう・よっちゃん (王様文庫) より

ディズニーランドのリピーター率って知ってますか？なんと・・・97.5%です。これは、テーマパークとしてはありえない、数値です。どうということかというディズニーランドで100人の入場者のうち、「初めてディズニーランドに来ました！」という人は・・・わずか2～3人しかいないということです。

これは、単にアトラクションがおもしろいとか建物がきれいだという理由だけではないと言われていました。

実は・・・キャストとよばれる、ディズニーランドで働く方々に・・・大きな秘密があると言われていました。また紹介しますね。ちなみに、キャストの方々は来場者に「いらっしやいませ。」とは言いません。来場者に「こんにちは！」などのあいさつをします。なぜでしょうか？・・・知りたい人は大前まで・・・

あっ！忘れてた。本題です。「Dreams come true.」夢がかなうのは・・・**未来**なのに・・・「come」という動詞は・・・何で**現在形**なのか・・・県立伊丹の英語の先生に聞いてみました。

「夢が叶うのは・・・すでに……………**決まってるからですよ!**」(おーー！かっ！いい！なるほど!)